

User Guide

Knot Tying Trainer

糸結び手技トレーナー

品番 **150050**



150050 糸結び手技トレーナー

糸結び手技トレーナーは、英国やアイルランドで主催されているBasic Surgical Skills Course(BSS:外科基本手技コース)で習得する手技はもちろんのこと、外科結紮手技を学ぶことができるトレーナーです。

習得できる技術

- リーフノット テクニック(ワンハンド)
- 器械結び
- 外科結び
- スリップノット
- 小さな開創での糸結び
- 大きな開創での垂直上方からの深部糸結び
- 大きな開創での斜め方向からの深部糸結び

特長

- 組織の脆弱度を3種の強度の磁石で再現
- 2種類の手術での開創状態を再現
 - 小型シリンダ:小さな開創で狭く浅い術野での糸結び
 - 大型シリンダ(リバーシブル):大きな開創で深い術野で、垂直方向、斜め方向からの腹部や骨盤内の深部糸結び
- シリンダは透明で、術者の手技や能力が容易に評価可能
- 並行に結ばれたチューブは、生体に近い抵抗感を再現

構成品

- 本体(固定シリンダを含むベース部) × 1
- 可動シリンダ 中 × 1
- 可動シリンダ(リバーシブル) 大 × 1
- 糸結び用フック(3種:磁力_強/中/弱) × 1
- **150164** 紅白コード(3本組) × 1
- **150158** 糸結び用チューブ(3本組) × 1

糸結び用チューブの取り付け（購入時は装着済）

1



本体に固定されたシリンダの穴の片方に、糸結び用チューブを通します。

通したチューブの先を、もう片方の穴を通して出します。

2

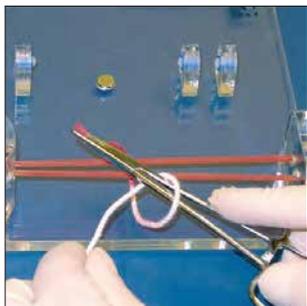
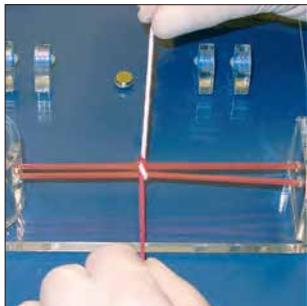


通したチューブの両端の長さが揃っていることを確認します。

チューブの長さの2/3のあたりを片手で握って、シリンダと逆側のプレートとの穴に通します。チューブの両端はつかんだまま抜けないように結んでください。

使用例の紹介

1



糸結びと器械結び

手技に応じて、紅白コードは
適当な長さに切断して使用を
してください。

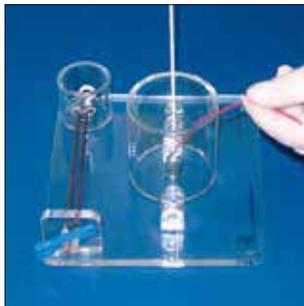
(例えば、1/3 赤 2/3 白にす
るなど)

2



深部での指結び
(固定シリンダを使用して)

3



深部での指結び
(可動シリンダ中を使用して)

4

4



深部での指結び
(可動シリンダ大を使用して)

<腹部を想定>
開創大・垂直方向

5



深部での指結び
(可動シリンダ大を斜めに使用して)

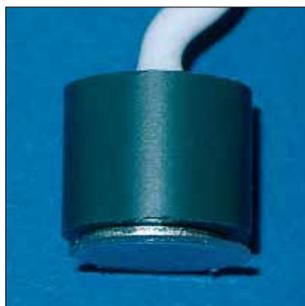
<骨盤腔を想定>
開創大・傾斜方向

A



このフック（マグネット底面にプラスチックリングのないもの）は、本体に固定されたシリンダ小で使用します。

B



このフック（マグネット底面に**薄い**プラスチックリングが接着されているもの）は本体中心部に可動シリンダ（中・大）を用い使用します。

この薄いプラスチックが、磁石でベースと引っ付いたフックを引き離す際に必要な力を低減させます。

※組織の脆弱度（中）

C



このフック（マグネット底面に**厚い**プラスチックリングが接着されているもの）は本体中心部に可動シリンダ（中・大）を用い使用します。

この厚いプラスチックが、磁石でベースと引っ付いたフックを引き離す際に必要な力をより低減させます。

※組織の脆弱度（高）

過度な力による組織崩壊を避ける練習

可動シリンダ（中・大）取り付け時の注意



シリンダの端部には小さなくぼみがあります。このくぼみの片側を、まず本体に固定された青白の保持具の間に挟み込みます。それからカチッと音がするまで反対側のくぼみに回し入れます。

シリンダを上から無理に差し込もうとすると、保持具が破損することがありますので、必ず上記手順で取り付けを行うようにしてください。



No: 065-021
2007年3月 第4版
© 2007 Limbs & Things

NLS 日本ライトサービス株式会社
Nihon Light Service, Inc.
医学教育機器事業部

〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-1
TEL:03-3815-2354 FAX : 03-3818-6843
URL:<http://www.medical-sim.jp>
E-mail:igaku@nlsinc.co.jp